

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】平成30年4月12日(2018.4.12)

【公表番号】特表2017-517367(P2017-517367A)
【公表日】平成29年6月29日(2017.6.29)
【年通号数】公開・登録公報2017-024
【出願番号】特願2017-517154(P2017-517154)
【国際特許分類】

A 6 3 G 21/18 (2006.01)

【F I】

A 6 3 G 21/18

【手続補正書】

【提出日】平成30年3月2日(2018.3.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

アミューズメントライド用の滑走機構であって、当該滑走機構上を滑走する乗り手又は乗り物を運ぶように適合させられており、当該滑走機構は、

前記乗り手又は乗り物が入ることを可能にする、インラン、

前記乗り手又は乗り物が出ることを可能にする、アウトラン、

前記インラン及び前記アウトランと通じている滑走面であり、該滑走面は、実質的に閉曲線のセクタの形状の面を有する、滑走面、並びに

前記インランから前記アウトランに延びる、外側リップ、

を有し、

当該滑走機構は、前記乗り手又は乗り物が、少なくとも部分的に重力によって付勢され、少なくとも部分的に前記外側リップによって境界を定められる弓状経路を、前記滑走面に沿って前記インランから前記アウトランに滑走することを提供する、

滑走機構。

【請求項 2】

前記滑走面は実質的に平面的である、請求項 1 に記載の滑走機構。

【請求項 3】

前記滑走面は、ピッチ軸の回りの一つのピッチ角に方向付けられており、前記ピッチ角は水平面に対して測定され、

前記滑走面は、ロール軸の回りの一つのロール角に方向付けられており、前記ロール角は前記水平面に対して測定され、

前記ピッチ軸及び前記ロール軸は互いに垂直であり、

前記ピッチ角及び前記ロール角の少なくとも一つは、ゼロでない、

請求項 1 に記載の滑走機構。

【請求項 4】

前記ピッチ角及び前記ロール角は、前記乗り手又は乗り物の高度が前記弓状経路の第一の部分に沿って上昇し、前記弓状経路の第二の部分に沿って低下するように選択される、請求項 3 に記載の滑走機構。

【請求項 5】

前記ピッチ角及び前記ロール角のそれぞれは、45°より小さい、請求項 4 に記載の滑

走機構。

【請求項 6】

前記ピッチ角及び前記ロール角の少なくとも一つは、 11.25° である、請求項 4 に記載の滑走機構。

【請求項 7】

前記ピッチ角及び前記ロール角のそれぞれは、 15° と 18° との間である、請求項 4 に記載の滑走機構。

【請求項 8】

前記ロール角は 11.25° であり、前記ピッチ角は 22.5° である、請求項 4 に記載の滑走機構。

【請求項 9】

当該滑走機構の直径は、 15 フィート（約 4.572 m）と 25 フィート（約 7.62 m）との間である、請求項 1 に記載の滑走機構。

【請求項 10】

当該滑走機構の半径は、前記インランから前記アウトランに向かって連続的に減少する、請求項 1 に記載の滑走機構。

【請求項 11】

前記アウトランにおける当該滑走機構の半径は、前記インランにおける当該滑走機構の半径の 75% である、請求項 10 に記載の滑走機構。

【請求項 12】

当該滑走機構の半径は、前記インランから前記アウトランまで一定である、請求項 1 に記載の滑走機構。

【請求項 13】

前記滑走面は覆われていない、請求項 1 に記載の滑走機構。

【請求項 14】

前記滑走面の上に覆いを更に有する、請求項 1 に記載の滑走機構。

【請求項 15】

前記覆いは、半球状又はドーム状の形状の少なくとも一つを有する、請求項 14 に記載の滑走機構。

【請求項 16】

当該滑走機構は乗り物を運ぶように適合させられており、前記乗り物は、一人の人間を座らせるための浮き台又は二人の人間を一行に並んだ構成で座らせるための浮き台を有する、請求項 1 に記載の滑走機構。

【請求項 17】

前記インランの形状及び前記アウトランの形状は、円形状又は半円形状の断面を有するウォータースライドシュートに連結するようにそれぞれ適合させられている、請求項 1 に記載の滑走機構。

【請求項 18】

前記滑走面は、前記乗り手の経路を案内するための溝を有する、請求項 1 に記載の滑走機構。

【請求項 19】

前記滑走面は、凹凸のある面を備えた柔軟な材料を有する、請求項 1 に記載の滑走機構。

【請求項 20】

前記外側リップは、実質的に平らな、前記滑走面に対して垂直な断面を有する、請求項 1 に記載の滑走機構。

【請求項 21】

前記外側リップは湾曲した断面を有する、請求項 1 に記載の滑走機構。

【請求項 22】

前記滑走面の縁は、前記外側リップへの滑らかな移行を提供するように湾曲している、

請求項 2 1 に記載の滑走機構。

【請求項 2 3】

前記滑走面の縁は、前記外側リップに合うように角度が付けられている、請求項 1 に記載の滑走機構。

【請求項 2 4】

前記滑走面の前記縁は、前記滑走面の中心部に対して 10° と 45° との間の角度に角度が付けられている、請求項 2 3 に記載の滑走機構。

【請求項 2 5】

請求項 1 に記載の滑走機構を有する、ウォータースライド。

【請求項 2 6】

前記滑走機構を支持する支持構造を更に有し、

前記支持構造は、前記滑走機構に対して動的に動きを与えるように構成されている、

請求項 2 5 に記載のウォータースライド。

【請求項 2 7】

アミューズメントライド用の滑走機構であって、当該滑走機構上を滑走する乗り手又は乗り物を運ぶように適合させられており、当該滑走機構は、

前記乗り手又は乗り物が入ることを可能にする、インラン、

前記乗り手又は乗り物が出ることを可能にする、アウトラン、

前記インラン及び前記アウトランと通じている滑走面であり、該滑走面は実質的に平面的である、滑走面、並びに

前記インランから前記アウトランに延びる、外側リップ、

を有し、

当該滑走機構は、前記乗り手又は乗り物が、少なくとも部分的に重力によって付勢され、少なくとも部分的に前記外側リップによって境界を定められる弓状経路を、前記滑走面に沿って前記インランから前記アウトランに滑走することを提供し、

前記滑走面は、前記乗り手又は乗り物の高度が前記弓状経路の第一の部分に沿って上昇し、前記弓状経路の第二の部分に沿って低下するように方向付けられている、

滑走機構。

【請求項 2 8】

前記滑走面は、ピッチ軸の回りの一つのピッチ角に方向付けられており、前記ピッチ角は水平面に対して測定され、

前記滑走面は、ロール軸の回りの一つのロール角に方向付けられており、前記ロール角は前記水平面に対して測定され、

前記ピッチ軸及び前記ロール軸は互いに垂直であり、

前記ピッチ角及び前記ロール角の両方は、ゼロでない、

請求項 2 7 に記載の滑走機構。

【請求項 2 9】

請求項 2 7 に記載の滑走機構を有する、ウォータースライド。

【請求項 3 0】

アミューズメントライド用の滑走機構であって、当該滑走機構上を滑走する乗り手又は乗り物を運ぶように適合させられており、当該滑走機構は、

前記乗り手又は乗り物が入ることを可能にする、インラン、

前記乗り手又は乗り物が出ることを可能にする、アウトラン、

前記インラン及び前記アウトランと通じている滑走面であり、該滑走面は、実質的に円形状又は実質的に楕円形状の面を有する、滑走面、並びに

前記インランから前記アウトランに延びる、外側リップ、

を有し、

当該滑走機構は、前記乗り手又は乗り物が、少なくとも部分的に重力によって付勢され、少なくとも部分的に前記外側リップによって境界を定められる弓状経路を、前記滑走面に沿って前記インランから前記アウトランに滑走することを提供する、

滑走機構。

【請求項 3 1】

アミューズメントライド用の滑走機構であって、当該滑走機構上を滑走する乗り手又は乗り物を運ぶように適合させられており、当該滑走機構は、

前記乗り手又は乗り物が入ることを可能にする、インラン、

前記乗り手又は乗り物が出ることを可能にする、アウトラン、及び

前記インラン及び前記アウトランと通じている滑走面、

を有し、

前記滑走面の半径は、前記滑走面の少なくとも一部分に沿って減少し、前記部分は、前記滑走面が前記インランに合流する場所から始まり、

当該滑走機構は、ロール軸の回りの一つのロール角に方向付けられており、

前記ロール角は、水平面に対して測定される場合に、ゼロでない、

滑走機構。

【請求項 3 2】

前記インランから前記アウトランに延びる、外側リップを更に有し、

前記外側リップは、前記乗り手又は乗り物が前記インランから前記アウトランに移動するときに、弓状経路に沿って前記乗り手又は乗り物を案内する、

請求項 3 1 に記載の滑走機構。

【請求項 3 3】

前記弓状経路は、実質的に円弧である、請求項 3 2 に記載の滑走機構。

【請求項 3 4】

前記弓状経路は、約 180 度の弧である、請求項 3 2 に記載の滑走機構。

【請求項 3 5】

前記滑走面が前記アウトランに合流する場所の前記滑走面の半径は、前記滑走面が前記インランに合流する場所の前記滑走面の半径と等しいか又はより大きい、請求項 3 1 に記載の滑走機構。

【請求項 3 6】

前記滑走面が前記アウトランに合流する場所の前記滑走面の半径は、前記滑走面が前記インランに合流する場所の前記滑走面の半径よりも小さい、請求項 3 1 に記載の滑走機構。

【請求項 3 7】

前記滑走面が前記アウトランに合流する場所の前記滑走面の半径は、前記滑走面が前記インランに合流する場所の前記滑走面の半径の約 75 % である、請求項 3 6 に記載の滑走機構。

【請求項 3 8】

前記滑走面の半径は、前記滑走面の前記部分に沿って約 30 フィート（約 9 . 144 m）から約 15 フィート（約 4 . 572 m）に移行する、請求項 3 1 に記載の滑走機構。

【請求項 3 9】

前記滑走面の半径は、前記滑走面の前記部分に沿って連続的に減少する、請求項 3 1 に記載の滑走機構。

【請求項 4 0】

前記滑走面の前記部分は第一の部分であり、

前記滑走面の半径は、前記滑走面の少なくとも第二の部分に沿って増大する、

請求項 3 1 に記載の滑走機構。

【請求項 4 1】

前記滑走面の半径は、前記滑走面の前記第二の部分に沿って連続的に増大する、請求項 4 0 に記載の滑走機構。

【請求項 4 2】

前記滑走面の半径は、前記滑走面の前記第二の部分に沿って約 15 フィート（約 4 . 572 m）から約 30 フィート（約 9 . 144 m）に移行する、請求項 4 0 に記載の滑走機

構。

【請求項 4 3】

前記ロール角は、 45° よりも小さい、請求項 3 1 に記載の滑走機構。

【請求項 4 4】

前記ロール角は、 11.25° である、請求項 3 1 に記載の滑走機構。

【請求項 4 5】

前記ロール角は、 15° と 18° との間である、請求項 3 1 に記載の滑走機構。

【請求項 4 6】

前記滑走面は、ピッチ軸の回りの一つのピッチ角に方向付けられており、

前記ピッチ角は、水平面に対して測定される場合に、ゼロでなく、

前記ピッチ軸及び前記ロール軸は互いに垂直である、

請求項 3 1 に記載の滑走機構。

【請求項 4 7】

前記インランから前記アウトランに延びる、外側リップを更に有し、

前記外側リップは、弓状経路に沿って前記インランから前記アウトランに向かって前記乗り手又は乗り物を案内し、

前記ピッチ角及び前記ロール角は、前記乗り手又は乗り物が前記弓状経路の第一の区分に沿って移動するときに前記乗り手又は乗り物の高度が上昇し、前記乗り手又は乗り物が前記弓状経路の第二の区分に沿って移動するときに前記乗り手又は乗り物の高度が低下する、ように構成されている、

請求項 4 6 に記載の滑走機構。

【請求項 4 8】

前記ピッチ角及び前記ロール角のそれぞれは、 45° より小さい、請求項 4 6 に記載の滑走機構。

【請求項 4 9】

前記ピッチ角及び前記ロール角の少なくとも一つは、 11.25° である、請求項 4 6 に記載の滑走機構。

【請求項 5 0】

前記ピッチ角及び前記ロール角のそれぞれは、 15° と 18° との間である、請求項 4 6 に記載の滑走機構。

【請求項 5 1】

前記ロール角は 11.25° であり、前記ピッチ角は 22.5° である、請求項 4 6 に記載の滑走機構。